

シマムセン TEAC 製品試聴会報告 (2025.7.26)

1. はじめに

シマムセン CYMA で開催された TEAC 製品試聴会に行ってきました。

2. 開催要項と使用機器

開催スケジュールや使用機器などは下記のとおりです。

TEAC

UD-701N

AP-507

Klipsch

Cornwall IV

シマムセン試聴会 2025
SHIMAMUSEN Listening Event
7月26日(土)

前回も多くのお客様から好評をいただきましたシマムセン企画試聴会。今回はTEACの取り扱い製品に焦点を当てた試聴会を開催いたします。

第一部ではOTOTEN2025に出展されたシステムをCYMAにて再現と題して、TEAC Reference 500シリーズとアメリカの伝統的なスピーカーKlipsch Cornwall IVの組み合わせでデモを行います。

第二部ではTEAC Reference 700シリーズのポテンシャルをどこまで引き出せるかをB&W804D4の組み合わせで実演デモを行います。

〈日程〉 7月26日(土) 第一部 13:00-14:30
第二部 15:00-16:30

〈会場〉 ホリノビル 2階 **CYMA**
(大阪市東淀川区日本橋4-5-20) \イベント情報はこちら/

ご予約・お問い合わせ
シマムセン shimamusen.co.jp
06-6632-2854

日時

2025 年 7 月 26 日(土)

第二回 シマムセン独自試聴会

【TEAC 製品ってどうなんやろ〜!?】

第一部 13:00~14:30 (OTOTEN 2025 に出展されたシステムを CYMA にて再現)

第二部 15:00~16:30 (Reference 700 シリーズのポテンシャルをどこまで引き出せるか?)

※一部と二部で別内容の講演となります。

【第一部使用機材】

メーカー / 機種) (税込み定価)

[プリアンプ/ヘッドホンアンプ] TEAC / HA-507 (¥308,000)

[プリアンプ/USB DAC] TEAC / UD-507 (¥327,800)

[パワーアンプ] TEAC / AP-507 (¥308,000)

[CD トランスポート] TEAC / PD-505T (¥162,800)

[マスタークロック] TEAC / CG-10MX (¥242,000)

[スピーカー] Klipsch / Cornwall IV (¥1,716,000/ペア)

【第二部使用機材】

(メーカー / 機種) (税込み定価)

[ネットワークプレーヤー/USB DAC] TEAC / UD-701N (¥418,000)

[パワーアンプ] TEAC / AP-701 (¥352,000)

[CD プレーヤー] TEAC / VRDS-701 (¥382,800)

[CD トランスポート] TEAC / VRDS-701T (¥275,000)

[マスタークロック] ESOTERIC / G-05 (¥495,000)

[スピーカー] B&W / 804D4 (¥2,530,000/ペア)

会場 CYMA Event Room (シマムセン別館 2 F)

講師 シマムセン担当者

内容

一部では「OTOTEN 2025 に出展されたシステムを CYMA にて再現」と題して、TEAC Reference 500 シリーズとアメリカの伝統的なスピーカー Klipsch Cornwall IV の組み合わせでデモを行います。

二部では TEAC Reference 700 シリーズのポテンシャルをどこまで引き出せるかを、B&W804D4 の組み合わせで実演デモを行います



当日のセッティング

3. 試聴会の経過

上記スケジュールの第 1 部に参加しました。今回の試聴会は、メーカー企画ではなく販売店がメーカー製品を紹介する自主企画でしたが、TEAC 社の成り立ちや製品構成の流れの紹介がありました。

最初にヴァイオリンとハープでのケルト系民謡の曲と、女性ボーカルがかかりましたが、中高域にホーンを使用した Klipsch / Cornwall IV の音離れの良さが確認できました。

さらに 10MHz のマスタークロック CG-10MX を CD トランスポートと USB DAC に入れるとどうなるかを女性ボーカルとロックで試聴しましたが、明らかに解像度があがりました。

次にチャイコフスキーのバレエ音楽白鳥の湖がかかりましたが、ESOTERIC のリマスター盤の特性か、あるいはスピーカーの特性か、クラシックのオーケストラの解像度は期待できませんでしたが、スピーカーケーブルを替えるなどすれば、少し改善できることが分りました。

さらにトランスポートと DAC との間のデジタルケーブルを替えるテストをアコースティックギターの曲で確認することも行われました。

ここまでは USB DAC プリの UD-507 での試聴でしたが、UD-507 は USB DAC 機能のみ使用し、プリ機能はプリアンプの HA-507 を使用する分担を行ったところ、女性ボーカルやジャズでその効果が確認できました。

最後にオーディオチェック CD を用いて、接続状態や部屋の特性の検証する意義のデモがありました。

4. まとめ

良くも悪くも Klipsch Cornwall IV の音質に左右される結果でしたが、クロック入力の効果など、ハイエンドの領域に至らない価格帯の TEAC 製品の音質が確認できました。

以上

[註]

試聴開始に先立ち、持参した CD で CD とシステムの音質の確認をさせていただきました。また、シマムセン TIMELORD 製品試聴会報告(2025.7.12)で報告した試聴では Roon 経由による Qobuz の音質に疑問がありましたので、当日のインターネット接続や LAN 経路の対策を尋ねましたが、特段の対策はしていなかったそうで、現在、対策を検討中とのことで、機会を見て配信音源での効果を確認してみたいと思っています。